

③ 山国川床上浸水対策特別緊急事業（名勝耶馬溪「青地区」の川づくり）

受賞機関 国土交通省 九州地方整備局 山国川河川事務所

全建賞審査委員会の評価ポイント

平成24年7月の「九州北部豪雨」で被災した「名勝・耶馬溪」周辺における、景観にも配慮しつつ地域の安全・安心に取り組んだ事業。安全・安心の治水効果に加えて、地元住民を含めた多方面のアドバイスを受けメインとなる石積みの創意工夫・景観整備を行ったことで、観光客数は水害前以上となり、観光資源、地域活性化に貢献したことを評価。

1. はじめに

平成24年7月の九州北部豪雨で被災した山国川の中・上流において、「山国川床上浸水対策特別緊急事業」を平成25年度より5ヵ年計画で実施中であるが、中でも当該「青地区」はいち早く堤防整備等を完成させた。この地区では、名勝耶馬溪に代表される景勝地で有名だが、右岸無堤防区間からの溢水で住宅や店舗（旅館、レストラン）などが甚大な被害を被った。整備にあたっては、高さ約4mの堤防護岸による治水対策に加え、青の洞門・競秀峰等に代表される奇岩、新緑、紅葉が織りなす周辺環境との調和や年間170万人もの観光客が訪れる観光資源としての利活用に配慮した川づくりを進めていく必要がある。

2. 事業の概要

整備方針として設計段階においては、「青地区河川整備検討委員会」を設置・議論し、景観を考え、構造を風景になじませ細部にわたる利用者目線でのアドバイスをもとに設計・施工に反映、また別途「多自然アドバイザー会議」を設置し議論いただいた。施工段階においては、学識者、地元代表者、行政機関によるフォローアップ会議（現地確認、会議）を開催し、当初の設計・施工方法と相違ないか、改善点があるかなど指導、提案をいただきながら丁寧な施工に努めた。新たに築造する堤防付近の樹木や河岸付近の奇岩など情緒ある風景を楽しみながら、山国川の美しい流れとその周辺の奇岩、秀峰が織りなす良好な河川環境との調和を図ることができた。メインとなる石積みは、競秀峰の岩肌に近い石材を用い、パラペット上端まで滑らかに仕上げることで視覚的な一体性を確保した。

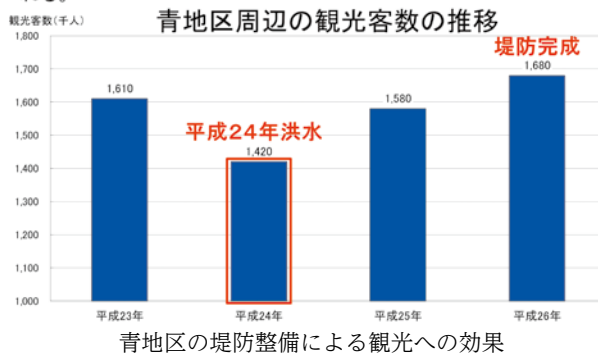


完成した青地区堤防

3. 事業の成果

洪水が発生した平成24年の観光客数は大幅に減少したが、今回の整備により治水効果（堤防築造により宅地、旅館、店舗等、浸水被害の解消）はもとより地元住民を含めた多方面のアドバイスを踏まえ、メインとなる石積みの創意工夫・景観整備を行ったことで、観光客数は水害前以上となり観光資源、地域活性化に貢献した。

洪水が発生した平成24年の観光客数は、大幅に激減。青地区の周辺と一体となった堤防完成により、観光客数約25万人の回復が見られる。



4. おわりに

「山国川床上浸水対策特別緊急事業」は、青地区の川づくりを先例に他の整備地区においても周辺景観・利活用に配慮した整備を行っている。今後も地元や自治体等大いに期待されているなか、地域の安全・安心、観光産業の発展に寄与出来る川づくりを進めていく。

賛助会員 (株)川原建設、(株)東京建設コンサルタント